



新田 健介 議員

**コロナ禍における避難所開設  
に関しての進捗状況について**

**問** 新型コロナウイルス感染症が未だ収束しない中、避難所開設に関しての進捗状況について伺います。特に、定員数と、それを超えた場合の臨時の避難場所を選定していますか。

また、避難所を担当する職員に対して、各種マニュアルなどは周知徹底されているのかお聞きします。

**答** 基本的には、開設している避難所の近隣施設を確保し、職員配置を考慮したうえで、状況に応じて増設していく必要があると考えています。

マニュアルなどの職員への周知については、毎年配布する「警

報・注意報発表時の対応マニュアル」に併せ周知していきます。

**出張所(棕野)の閉鎖について**

**問** 行政改革の一環として、棕野出張所の閉鎖が検討されています。11月9日に住民に対して説明会が行われましたが、参加者も少なく、まだまだ検討の余地があるのではないかと考えます。

私自身、棕野の方々に現状を伺って回りましたが、近隣の久賀総合支所や蒲野出張所などに行こうにも行けないと言う声が多くありました。何の代案もなまま進めるのでは、住民サービスの低下は免れず、このまま即閉鎖ということには大きな問題があると感じています。

今後、さらに説明会を開催する予定はないのでしょうか。また、4月から即閉鎖という事ではなく、週に何回かは職員を配置する、あるいは交通手段を確保する、遞送使用のポストを設置する、フリーダイヤルを設けるなどの代案を考えながら進め

て行くことは考えていないのかお尋ねします。

**答** 今まであった出張所が無くなることに関して地域の皆様は不安な気持ちがあると思います。

年明けになりますが、再度説明会を実施し、先日の説明会で頂いたご意見やご要望に回答しながら丁寧の説明していきたいと考えています。

**ゴミステーションについて**

**問** ゴミステーションについては基本的には各自治会に1か所という方針のようですが、その設置基準について伺います。

また高齢化が進み、ゴミステーションまでゴミ出しに行くことが困難な方も増えていることを鑑み、地理的状况なども考慮し、設置場所を増やすなどの対応も必要なのではないかと考えます。執行部の見解を伺います。

**答** 設置基準は、以前から設けています。先日、各自治会へゴ

ケートを実施したので、その結果を踏まえ、新設の要望があった場合には前向きに検討していく必要があると考えています。

**廃校の利活用について**

**問** 次年度、安下庄中学校、東和中学校、油田小学校が閉校となり、今後も町内の他の小中学校において統廃合の可能性がある中で、学校施設の利活用は重要な問題であると考えています。耐震工事や空調整備などが終わっている校舎も多く、早期に再利用・利活用を模索すべきであると考えています。

今後の利活用について、町長、教育長の見解を伺います。

**答** 閉校した学校の後利用については、公有財産を有効活用する観点からも重要な課題です。油田小学校と安下庄中学校の後利用は白紙状態であり、今後地域の方々からご意見を拝聴したり、広報誌やホームページを活用し、広くアイデアを頂くことも必要であると考えています。